

講義名	対)介護概論		
担当教員	森合 真一		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 5時限	授業形態	講義
履修開始年次	2年生	単位数	2
主題と概要			
<p>少子高齢化の進行によって「介護」の重要性が増し、あらゆる分野で介護を必要とする側の視点に立った介護に対する理解が求められている。本科目では、移動・移乗・食事・排泄・入浴等の介護技術や介護サービスを提供する際に必要となる知識および技術について学び、介護保険制度や権利擁護の仕組みについて理解する。</p>			
到達目標			
<p>1. 介護の理念や倫理、身体介護や生活支援の基本を理解し、説明することができる。 2. 介護保険制度の概要について理解している。 3. 介護の現場における課題を理解し、説明することができる。</p>			
提出課題			
レポート課題の提出を求める場合がある。			
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
講義において講評・解説を行い、個別にコメントを記して返却する。			
評価の基準			
定期（筆記）試験80％、平常点20％（受講態度、出席状況、レポート課題の提出を求めた場合はレポートの評価）で評価をする。			
履修にあたっての注意・助言他			
指定テキストを持参すること。			

教科書				
.本人の視点に基づく介護技術ハンドブック。	上原千寿子	中央法規出版	2,200円	978-4-8058-5948-3
プリント資料及び参考文献				
講義日ごとにレジュメ（プリント）を配布する。				
授業計画				
<p>1. イントロダクション、介護として大切なこと 2. コミュニケーション コミュニケーションで大切なこと、本人へ寄り添う 3. コミュニケーション コミュニケーションのとり方、自己決定 4. 移動・移乗の基礎知識 5. 移動・移乗の基礎知識 6. 食事 食事の支援、口腔ケア 7. 排泄・入浴 8. 衣服の着脱 9. 介護現場における理念と倫理 10. 介護保険制度の概要 11. 介護保険制度の概要 12. 介護保険制度の概要 13. 居宅介護支援（いわゆるケアマネジメント）の基礎知識 14. 高齢者の権利擁護 15. まとめ・問題演習講義</p>				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）		
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク		
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク		
キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
講義後、復習として30分程度の自己学習を行って下さい。また、質問等があれば速速なく講義後にお尋ね下さい。				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
学生がインターネットを活用し、具体的な事例や事象についてまとめる。				
実務経験の有無及び活用				
実務経験あり：社会福祉士としてソーシャルワーカーの実務経験、介護支援専門員としてケアマネジャーの実務経験、大学・短期大学専任教員として社会福祉士・保育士等専門職養成の実務経験				
備考				
授業計画は、状況により変更する場合がある。講義の一部において、視聴覚教材を視聴する場合がある。				